

公益財団法人 日本ソフトボール協会機関誌

ソフトボール

2024年/令和6年
第472号

5月号
(毎月1回10日発行)

編集兼発行者 公益財団法人 日本ソフトボール協会

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 Japan Sport Olympic Square

T E L . 03-5843-0480 F A X . 03-5843-0485

編集部 ㈱日本体育社 〒113-0033 東京都文京区本郷2-40-13-501

T E L . 03-3811-6911 F A X . 03-3811-6290



3年目のシーズンが開幕した「ニトリ JD.LEAGUE」。下剋上・番狂わせはあるか!?

C o n t e n t s

・第42回全国高等学校男子選抜大会	2	・ニトリ JD.LEAGUE 2024 第1節・第2節	14
・第42回全国高等学校女子選抜大会	4	・第57回日本女子リーグ第1節	18
・第20回都道府県対抗全日本中学生男子大会	6	・もう一つの開幕……審判員・記録員奮戦す!	22
・第20回都道府県対抗全日本中学生女子大会	8	・事務局だより	24
・第17回春季全日本小学生男子大会	10		
・第17回春季全日本小学生女子大会	12		

◎第42回全国高等学校男子選抜大会◎

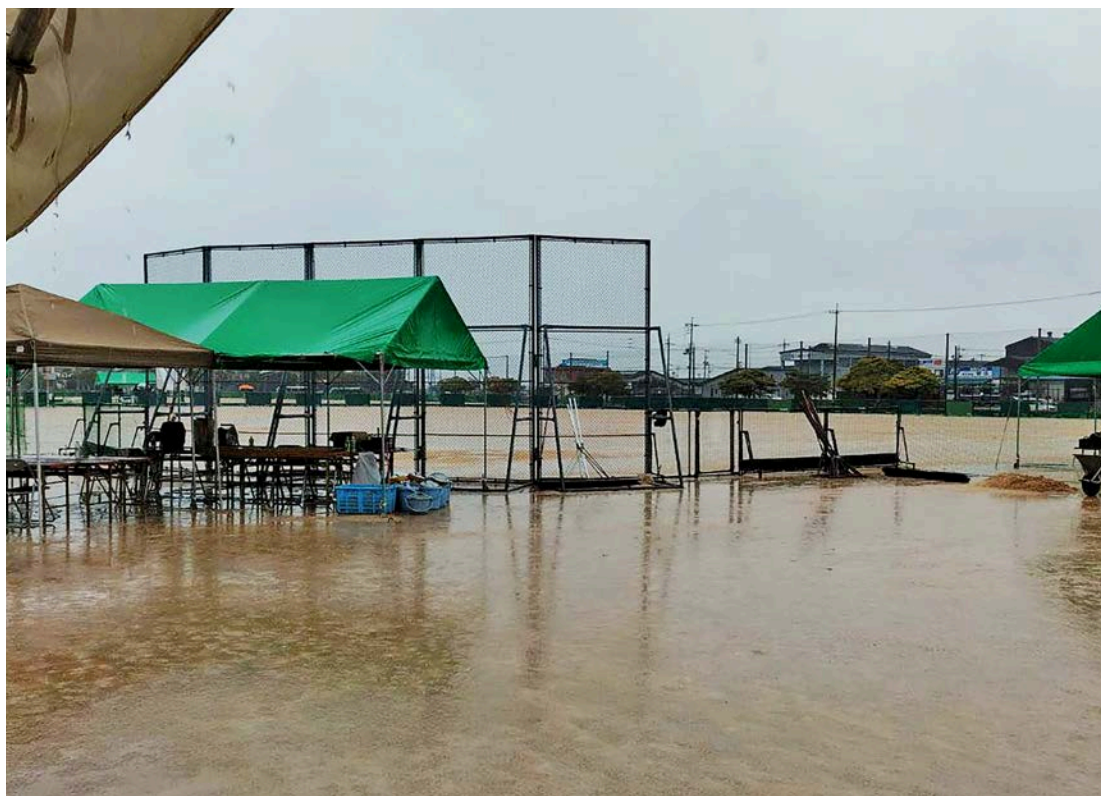
令和6年3月22日（金）～26日（火）※荒天により1日順延 山口県宇部市／宇部市東部体育広場



記録提供：山口県協会記録委員会

今回で42回目の開催となる「全国高等学校男子選抜大会」は、山口県宇部市／宇部市東部体育広場を会場に開催。全国から42チームが参集し、高校男子「春の日本一」の座をかけて熱戦が繰り広げられる予定であったが…大会2日目以降「あいにくの荒天」に見舞われてしまい、最終的に「準々決勝以降中止」という苦渋の決断が下される形となった。

大会初日の1回戦は晴天の下予定された全試合を実施することができたが、2日目の午後から次第に雲行きが怪しくなり、結局、この日の最終試合が降雨サスペンデッドゲームに。大会3日目は終日雨天で中止・順延。大会4日も曇天の中試合を実施・進行させたものの、最終第3試合の時間帯で突然の雷雨があり、またしても1試合サスペンデッドゲームが出てしまう事態に。前日の雨が残る大会最終日の朝、その時点で勝ち残っていたチーム（この日試合を行う予定だったチーム）の監督を球場に集め、主催者側・開催地側と「このまま大会打ち切りとするか、もしくは実施できるところまで試合を行うか」協議が行われ、結果、非常に残念ではあるが「荒天により準々決勝以降中止。8チーム入賞」という判断・決断に至り、今大会の幕を閉じることになった。



当初の予定通り実施・進行できたのは大会初日のみ。2日目以降は「あいにくの荒天」に見舞われてしまった…



各チーム「さらなるレベルアップ」に励み、次は「夏制覇」へ！



1回戦・2回戦・3回戦の試合結果は
日本協会オフィシャルサイトで!

●第42回全国高等学校女子選抜大会●

令和6年3月16日（土）～19日（火）静岡県富士宮市／富士山スタジアム 他



多治見西高等学校（岐阜）

念願の初優勝！



記録提供：静岡県協会記録委員会

「球春」の訪れを告げる標記大会は、去る3月16日（土）～19日（火）の4日間にわたり、静岡県富士宮市／富士山スタジアムを主会場に熱戦展開！

出場48チーム中まず注目を集めた「前回優勝」兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校（兵庫）が、エース・藤原真優美の快投等で1回戦、2回戦と2試合連続の完封勝ち（※1回戦／酪農学園大学附属との森三愛高等学校（北海道）戦では、その藤原真優美が大会史上17人目となる無安打無得点試合を達成した！）。3回戦も難なく勝利し、連覇に向け快調な足取りを刻んでいるかに見えたが……準々決勝／聖霊高等学校（愛知）戦で自らの守備の乱れも影響し、「まさか……」の5回コールド負け（試合スコアは0-7）を喫してしまおうという「波乱」があった。



「前王者」須磨ノ浦が敗れるという波乱も……

そういった中で最終日の準決勝に勝ち進んだのは、聖霊高等学校、多治見西高等学校（岐阜）、金沢高等学校（石川）、高川学園高等学校（山口）の4チーム。「春の王座」をかけた最後の戦いに注目が集まった。



両者「初の決勝進出」へ！
試合は緊迫の接戦となった

〈準決勝〉
金沢高 2-1 高川学園高

1点を先取された後攻の多治見西は初回、安打、犠打で一死二塁と得点圏に走者を進め、3番・久野日奈多は空振り三振に倒れたが、続く4番・村上美沙希の左翼線への適時三塁打で同点。なお二死三塁の好機が続き、5番・知野見桃子も一・二塁間を破る適時打！2-1とすぐに逆転に成功した。多治見西は3回裏にも一死から2番・別府柚良、3番・久野日奈多が連打。さらに盗塁で二・三塁と攻め立てると、4番・村上美沙希の打席でスクイズを敢行し、これが野手選択となる間に3点を追加。リードを2点に広げ、そのまま3-1で勝利を飾り、「初優勝」に「王手」をかけた。

〈準決勝〉
多治見西高 3-1 聖霊高

両チームの投手が力投を続け、試合は0-0のまま延長タイブレークへ突入。8回の表裏も互いに1点ずつを取り合い、迎えた9回表、金沢は内野ゴロ、四球、盗塁で一死二・三塁とすると、4番・本橋七海のセカンドへの当たりが守備の乱れを誘い、この間に三塁走者が還り、1点を勝ち越し。

その裏、高川学園も犠打でタイブレークの走者を三塁に進め、3番・山田乃愛がレフト方向へ痛烈なライナーを放ったが、遊撃手がジャンプ一番この打球を好捕し、そのまま素早く三塁に転送。飛び出していた三塁走者は戻れず、ダブルプレイとなり、スリーアウト。試合終了。金沢が緊迫の戦いに2-1で競り勝ち、初の決勝へ駒を進めた。

〈決勝〉
多治見西高 3-0 金沢高

多治見西は2回裏、死球、連続犠打で二死三塁とし、1番・渡辺華奈のショート内野安打の間に1点を先制。1点リードのまま迎えた5回裏にも、連打、盗塁等で一死二・三塁と攻め立て、2番・別府柚良はサードゴロ。本塁突入を試みた三塁走者がタッチアウトになりはしたが、なお二死一・三塁。一



念願の初優勝に喜びもひとしお!!

守っては、知野見桃子・工藤ありさの「左右の投手リレー」で金沢打線を散發3安打に抑え込み、完封勝利。念願であった「春の栄冠」を手にした。



伝統校の多治見西が着実に加点し、リードを広げる

塁走者の二盗で二・三塁の状況を作り直すと、ここで3番・久野日奈多が中にはじき返す適時打！二者を生還させ、得点差を3点に広げた。

大会結果・LIVE 配信映像等は
日本協会オフィシャルサイトで!
www.softball.or.jp

JOC ジュニアオリンピックカップ 第20回都道府県対抗全日本中学生男子大会

令和6年3月24日（日）～27日（水）※悪天候のため一日順延
東京都あきる野市・青梅市・福生市・瑞穂町／あきる野市民球場 他（記録提供：東京都協会記録委員会）

鹿児島県選抜チーム



東京都協会のサポート・尽力もあって無事全日程終了

本大会は東京都あきる野市・青梅市・福生市・瑞穂町を舞台に、3月24日（日）～26日（火）の3日間にわたって開催される予定であったが、大会3日目（3月26日／火）が悪天候のため中止・順延となり、予備日を使用しての4日間開催となった。

大会初日（3月24日／日）に1回戦・2回戦の13試合。大会2日目（3月25日／月）は準々決勝・準決勝の6試合。雨天順延を挟み、大会最終日（3月27日／水）には決勝戦を実施。

ベスト4には、神奈川県選抜、大阪府、岡山県選抜、鹿児島県選抜チームがそれぞれ勝ち上がった。

〔準決勝〕大阪府 3 - 0 神奈川県選抜

大阪は2回表、一死から敵失で出塁した走者がワイルドピッチで二塁に進塁。三振、四球で二死一・二塁となり、8番・中島逸哉の一塁強襲安打の間に二塁走者が一気に本塁を陥れ、1点を先制。3回表にも四球、安打、四球等で二死満塁と攻め立てると、7番・伴野湘哉のセカンドゴロが守備のエラーを誘い、三塁走者がホームイン。なお二死満塁のチャンスが続き、次打者への5球目がワイルドピッチとなり、もう1点を追加。3-0とリードを広げ、勝利を決定づけた。

守っては、神田悠生、西之川博孝とつなぐ投手リレーで神奈川打線を散発2安打、14奪三振に抑え込み完封勝利。決勝へ駒を進めた。



大阪が完封勝利で決勝へ

〔準決勝〕鹿児島県選抜チーム 2 - 0 岡山県選抜

エース・福岡剛太郎が力投!



鹿児島は2回表、二死から6番・瀬戸山悦次がバント安打で出塁。すかさず二盗を決めると、ここから岡山の先発・中村円が突如制球を乱し、3連続四死球で押し出し。思わぬ形で先制点を挙げた。鹿児島は4回表にも一死から6番・瀬戸山悦次が右前安打で出塁し、内野ゴロ、ワイルドピッチで三塁まで進塁。8番・松林竜希の右前適時打で生還を果たし、貴重な2点目を挙げ、優位に試合を進めた。

投げては、初回ピッチャーの守備を兼務し、実質的な先発投手となったエース・福岡剛太郎が岡山打線から13三振を奪う力投! 最後まで得点を許さず、完封勝利で決勝進出を決めた。

〔決勝〕鹿児島県選抜チーム 7 - 6 大阪府

決勝では日本男子リーグに所属する「大阪・堺グローバル」「山口水産」のジュニアチームを主体とする大阪、鹿児島が激突した。

鹿児島は準決勝同様、試合開始と同時にD P・福岡剛太郎がピッチャーの守備を兼務し、「実質的な先発投手」に。大阪はその福岡剛太郎の立ち上がりを攻め、一死から安打、敵失等で一・二塁とすると、4番・小森琥輝の中前適時打で二塁走者がホームイン。なお一死一・三塁のチャンスが続き、一塁走者の盗塁、故意四球、押し出しの四球で2点目。さらに7番・神田悠生の左前適時打で三塁走者が選り、この回3点を奪った。

鹿児島も2回裏、大阪の先発・神田悠生の制球の乱れにつけ込み、連続四球とバント安打で無死満塁の絶好機をつかみ、二死後、2番・瀬尾飛翔のバント安打、相手守備の乱れで二者が生還。2点を返し、4回裏には2番・瀬尾飛翔、3番・濱田奏太郎、4番・福長慶樹の3連続長短打で2点を挙げ、4-3と逆転に成功した。



先制点を奪ったのは大阪

の活躍で一大会 MVP に輝いた



試合はこの後、大阪が5回表に同点、6回表には勝ち越しに成功し、6-4と再びリード。このまま押し切るか……と思われた。

しかし、「あきらめない!」鹿児島は6回裏、この回先頭の代打・先立瑛海が左中間二塁打を放ち出塁。不正投球で三塁へ進み、次打者の四球、盗塁で無死二・三塁とチャンスを広げると、2番・瀬尾飛翔が走者一掃の適時三塁打を放ち、試合を振り出しに。さらに一死後、4番・福長慶樹が左中間へ適時二塁打を放ち、7-6とまたも逆転に成功! 7回表の大阪の攻撃を「チーム一丸」の守りで無得点に抑え、大激戦をモノにし、歓喜爆発! 見事「初優勝」を飾った!!

決勝戦ダイジェスト動画はこちらから

大会結果の詳細、全試合のインングスコア等は日本ソフトボール協会オフィシャルHPで

JOCジュニアオリンピックカップ 第20回都道府県対抗全日本中学生女子大会

令和6年3月28日（木）～30日（土）岐阜県揖斐郡揖斐川町・大野町／揖斐川健康広場 他
〈記録提供：岐阜県協会記録委員会〉



神奈川選抜 初優勝

本大会は3月28日（木）～30日（土）の3日間、岐阜県揖斐郡揖斐川町・大野町を舞台に開催された。

大会初日（3月28日／木）は1回戦・2回戦の32試合が行われ、「地元」3チームのうち、岐阜県選抜、岐阜県選抜REDが残念ながら初戦敗退。大会2日目（3月29日／金）は3回戦・準々決勝の12試合が行われ、残る地元・岐阜県選抜Secondが準々決勝まで進出。三重選抜に0-9で敗れ、ベスト4はならなかったが会場を大いに盛り上げてくれた。



「地元」岐阜県から出場した3チームも奮闘！

熱戦を勝ち上がり、大会最終日（3月30日／土）の準決勝には大阪選抜、長崎県選抜、神奈川選抜、三重選抜がそれぞれ駒を進め、「日本一の座」をかけた最後の戦いに挑んだ。

〈準決勝〉大阪選抜 1-0 長崎県選抜

大阪は2回表、四球、敵失、犠打で一死二・三塁の得点機を得ると、二死後、連続四球で押し出し。勞せずして先制点を挙げ、結局この1点が決勝点となった。

山本心音が「テンポの良いピッチング」で相手打線を寄せ付けず、完封勝利



押し出しの1点が決勝点に……

投げては、エース・山本心音が長崎打線を被安打1・四死球0・奪三振15に抑える好投。女子U15日本代表にも選出され、昨年10月にワールドカップの舞台を経験した右腕がその「実力」を見せてつけ、決勝進出の「立役者」となった。

〈準決勝〉神奈川選抜 3-0 三重選抜

後攻の神奈川は初回、一死から2番・白川結菜がレフトオーバーの三塁打で出塁すると、続く3番・伊藤潤がスクイズを決め、アッという間に1点を先制。3回表にも四球、犠打、安打等で一死二・三塁のチャンスを作り、二死後、4番・土屋万智が左前適時打！三塁走者に続き二塁走者も本塁を陥れ、この回2点を追加し、リードを3点に広げた。

守っては、小野愛果・菊川瑞歩の投手リレーで三重打線をわずか1安打に抑え込み、完封勝利。初の決勝へ駒を進めた。



「エース」小野愛果が6回1/3を投げ、被安打1・奪三振9と好投！

《決勝》神奈川選抜 6-5 大阪選抜



大阪と神奈川が激突！

試合が動いたのは5回裏、神奈川は「大会屈指の好投手」山本心音をついにとらえ、4番・土屋万智、5番・松浦佳代の連続安打から野手選択、敵失、1番・鈴木優空の左前適時打等で3点を先制。

しかし、直後の6回表、大阪も反撃。2番・西田海凜、3番・中野蕾良、4番・平田寛乃の3連打でまず1点を返すと、一死後、6番・武石希咲の中犠飛、さらに7番・田口愛悠の左前適時打で2点を奪い、3-3の同点に追いついた。

その後、両チーム勝ち越し点を挙げる事ができず、試合は延長タイブレークへ突入。8回、9回は互いに1点ずつを取り合い、迎えた10回裏、神奈川はタイブレークの走者を二塁に置き、9番・蒲谷春陽がピッチャーゴロに打ち取られたが、この間に走者が三進。ここで1番・鈴木優空が初球を思い切って引っ張り、強烈な打球がサードのグラブをはじき、レフト前へ転々とする間に三塁走者がサヨナラのホームイン!! 最後は「頼れるキャプテン」鈴木優空の「勝利への執念」がバットに乗り移り、この死闘を6-5で制し、神奈川に初の栄冠がもたらされた。



鈴木優空が優勝を決めるサヨナラ打!!

大会結果の詳細、全試合のインングスコア等は日本ソフトボール協会オフィシャルHPで

第17回春季全日本小学生男子大会

令和6年3月30日（土）～4月1日（月）

群馬県渋川市／渋川市坂東橋緑地公園ソフトボール場・木暮組スポーツパーク赤城野球場

記録提供：群馬県協会記録委員会



初優勝！ 加古川ウィンズ(兵庫)



1 優秀選手
諸橋日和(松戸スターズ)



大会M.V.P.
海老川流聖(加古川ウィンズ)

【大会概要】

標記大会は、3月30日（土）～4月1日（月）の3日間、群馬県渋川市・渋川市坂東橋緑地公園ソフトボール場・木暮組スポーツパーク野球場の2会場・8面を使用して開催。全国各都道府県から代表45チームが集い、「小学生男子日本一」の座をかけ、熱戦を繰り広げた。また同大会では、LINEのオープンチャット機能を使い、大会の試合結果や大会本部からの連絡事項をリアルタイムで伝え、敗れたチーム同士の「交流戦」も企画される等、大会運営に工夫が凝らされていた。

大会初日は、2会場・8面を使用して1回戦・2回戦計29試合が実施されたが、試合に先立ち、日ソ協・三宅豊会長が「始球式」を行い、かつて「日本代表」の「エース」として活躍した華麗なフォームで見事な投球を披露する一幕もあった。特筆すべき記録としては、1回戦で西谷山スポーツ少年団（鹿児島）の前村洋星投手が「完全試合」を達成。大会2日目は3回戦8試合・準々決勝4試合の計12試合が実施され、ベスト4が出揃い、石井スポーツ少年団（岡山）、松戸スターズ（千葉）、南島原少年SC（長崎）、加古川ウィンズ（兵庫）、以上の4チームが大会最終日の準決勝に駒を進めた。

両チーム無得点で迎えた6回表、松戸スターズは一死から1番・矢野湊斗が四球を選び出塁。次打者の内野ゴロの間に一塁走者が二塁に進塁。二死ながら得点圏に走者を進めると、3番・石井蓮太郎が勝負を避けられ、故意四球で歩かされ、一・二塁。これに燃えた4番・吉田一真がセンター前にタイムリー！ この一打に相手守備の乱れも絡み、この回2点を先制した。

守っては、「女子選手」である「エース」諸橋日和が「男子選手」を向こうに回し、被安打3・奪三振16の「完璧」なピッチング。最後まで石井スポーツ少年団打線に得点を許さず、2-0の完封で決勝進出を決めた。

〈準決勝〉
松戸スターズ
2-0
石井スポーツ少年団



懸命の戦い及ぼす……敗れた石井スポーツ少年団

〈準決勝〉
加古川ウィンズ
3-0
南島原少年SC

南島原少年SCも必死の反撃を試みたが……



両チーム得点のないまま、迎えた5回表、加古川ウィンズはこの回先頭の7番・藤原裕貴が四球で出塁したものの、送りバントがごとごとく二塁フォースアウト。走者を進められないまま、二死となり、チャンス逃したかに見えた。しかし、ここから1番・川本航生が二遊間を破る安打でつなぎ一・二塁とし、2番・岡田亮央がレフト頭上を抜く走者一掃のタイムリーツーベースを放ち、2点を先制！ 打った岡田亮央が本塁への送球の間に三塁まで進み、死球、盗塁で二死二・三塁とした後、ワイルドピッチでこの回3点目。決定的な追加点を挙げた。

守っては、今大会「無失点」を続ける「エース」海老川流聖がこの試合も被安打1・奪三振10の好投で完封。3-0で勝利を収め、決勝進出を決めた。

《決勝》
加古川ウィンズ
5-4
松戸スターズ



エースの力投及ぼす……松戸スターズ準優勝

加古川ウィンズは初回、四球の走者を犠打で二塁へ進め、3番・石井蓮太郎、4番・吉田一真の長短打で2点を先制。続く2回裏にも一死二・三塁とし、9番・平野健がスクイズを決め、3点目を挙げた。

3点を追う加古川ウィンズは5回表、二死一・二塁から2番・岡田亮央が走者一掃の中越適時二塁打。これに相手守備の連係プレイの乱れも絡み、打った岡田亮央まで還り、3-3の同点。さらに四球の走者を出し、4番・島田琉雅の左中間安打で一塁から走者が一気に生還。4-3と逆転に成功した。

逆に1点を追う立場となった松戸スターズはその裏、二死走者なしから四球、盗塁、4番・吉田一真のセンターオーバーのツーベースで4-4の同点に追いつき、延長タイブレークに突入した。

加古川ウィンズは8回表、4番・島田琉雅の勝ち越しのタイムリーで5-4と再び1点のリードを奪った。

松戸スターズはその裏、6番・諸橋日和が一・二塁間を抜く安打を放ち、ライトゴロを狙って一塁へ送球される間に二塁走者が一気に本塁突入を試みたが、タッチアウト。この間に二塁を狙った打者走者もアウトとなり、ダブルプレイ。塁上の走者がいなくなり、最後の打者がピッチャーフライに倒れ、万事休す。熱戦にピリオドが打たれ、加古川ウィンズが「初の栄冠」を手にした。

第17回
春季全日本
小学生男子
ソフトボール大会

決勝戦
ダイジェスト

2024年4月1日(月)
群馬県渋川市
塩原緑地公園ソフトボール場



決勝戦ダイジェスト動画はこちらから

大会結果の詳細、準決勝・決勝のインニングスコア等は日本ソフトボール協会オフィシャルホームページで!

第17回春季全日本小学生女子大会

令和6年3月24日（日）～27日（水）雨のため1日順延。大会途中打ち切り
 京都府宇治市／京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）・府民スポーツ広場（みどりが丘）
 記録提供：京都府協会記録委員会



無情の雨…… 大会途中で打ち切り

【大会概要】

標記大会は京都府宇治市／京都府立山城総合運動公園（太陽が丘）・府民スポーツ広場（みどりが丘）を会場に開催された。

全国各都道府県から代表45チームが集い、「小学生女子日本一」の座をかけて熱戦を繰り広げるはずであったが、大会初日から悪天候に見舞われ、試合開始時間を遅らせ、1回戦13試合のみを実施。その後も天候は回復の兆しを見せず、大会2日目・3日目も試合実施は不可能と判断され、無念の中止。大会最終日となった予備日に2回戦・3回戦24試合を実施したところで大会は打ち切りとなってしまった。

大会を主管した京都府協会・宇治市協会の皆さんが、天候が悪いと見るや開会式を室内での「ミニ開会式」に切り替えたり、試合開始時間変更・試合会場の変更等、「何とか試合をさせてあげたい！」とありとあらゆる可能性を考慮し、奔走・尽力してくださったのだが……選手の状態や競技上の安全面等を考えると、特に「将来」「未来」のある小学生の大会とあって、そこを「最優先」に考えざるを得ず……最新の天気予報、気象予測を取り寄せながら協議を繰り返し、難しい判断ばかり

を迫られる大会となってしまった。それでも……大会最終日は好天に恵まれ、2会場8面をフル稼働させ、試合を行うことができた。

無念の大会途中打ち切り……大会を運営する側にとっても、大会に出場したチーム・選手の皆さん、応援に駆けつけてくださった皆さんにとっても「不完全燃焼」で終わってしまった感は否めないが……できる限りの「最善」を尽くし、すべての可能性を視野に入れないで判断した「結果」であった。この悔しさやモヤモヤを「夏」に向けたエネルギーとし、次なる大会では、すべての人が晴れやかな笑顔で大会を終えることができることを祈るばかりである。



大会結果、全試合のインニングスコアは
日本ソフトボール協会オフィシャルHPで！

決着は夏の大会で



次なる

戦いは

もじり...



始まっている





東地区

ビックカメラ高崎

単独首位



ニトリ
JD.LEAGUE

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第1節・第2節



西地区

トヨタ 5戦全勝

第1節



「東地区」連勝スタートを切った日立

「東地区」では、2年連続で同地区「優勝」を飾っているビックカメラ高崎が3連勝の好発進！ 2年ぶりの「王座奪還」へ向け好スタートを切った。

これを試合数は異なるものの、同じく「連勝」スタートを切った日立が追い、ホンダ、太陽誘電、戸田中央の3チームが並び「同率3位」。1勝2敗の大垣ミナモ、NECプラットフォームズが6位同率。「ホーム」で開幕を迎えたデンソーは「まさか……」の3連敗を喫し、苦しいスタートとなった。

「ニトリJD.LEAGUE 2024」は、4月12日(金)、「東地区」の大垣ラウンド、安城ラウンドが「フライデーナイト」として先行開幕。翌13日(土)から「東地区」「西地区」各2会場・計4会場で熱戦の火蓋が切られた。

これを追うのが1勝1敗の豊田自動織機、SGホールディングス、伊予銀行、タカギ北九州の4チーム。東海理化、日本精工は勝ち星なしの連敗スタートとなってしまった。



首位発進の立役者となったシオノギ・三輪さくら

「東地区」から1日遅れの「開幕」となった「西地区」は、昨シーズンの「覇者」トヨタの「エース」後藤希友がいきなり「開幕戦」のタカギ北九州戦で「ノーヒット・ノーラン」を達成する下派手な幕開け！ 続くSGホールディングス戦も先手を許す試合展開となりながら、慌てず、騒がず、4-1の逆転勝ち！ 「連覇」へ向け順調なスタートを切った。

同じく開幕連勝で「同率首位」に並んだのはシオノギ。そのトヨタから移籍した三輪さくらが今節2勝を挙げ活躍。早くも「期待通り」の働きを見せ、首位躍進に貢献した。

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第1節「東地区」大垣ラウンド 岐阜県大垣市・大垣市北公園野球場			
月日	試合結果		
4月12日(金)		大垣 ミナモ	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
4月13日(土)	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	日立 サンディーバ
	第2試合	大垣 ミナモ	太陽誘電 ソルフィュー
4月14日(日)	第1試合	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	太陽誘電 ソルフィュー
	第2試合	大垣 ミナモ	日立 サンディーバ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第1節「東地区」安城ラウンド 愛知県安城市・デンソー プライムペガサス スタジアム			
月日	試合結果		
4月12日(金)		デンソー プライムペガサス	ビックカメラ高崎 ビークイーン
4月13日(土)	第1試合	ホンダ リヴェルタ	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	デンソー プライムペガサス	戸田中央 メディックス埼玉
4月14日(日)	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	デンソー プライムペガサス	ホンダ リヴェルタ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第1節「西地区」草津ラウンド 滋賀県草津市・草津グリーンスタジアム			
月日	試合結果		
4月13日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	タカギ北九州 ウォーターウェーブ
	第2試合	日本精工 プレイベアリーズ	SGホールディングス ギャラクシースターズ
4月14日(日)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	SGホールディングス ギャラクシースターズ
	第2試合	日本精工 プレイベアリーズ	タカギ北九州 ウォーターウェーブ

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第1節「西地区」松山ラウンド 愛媛県松山市・マドナスタジアム			
月日	試合結果		
4月13日(土)	第1試合	東海理化 チェリーブロッサムズ	シオノギ レインボーストークス兵庫
	第2試合	伊予銀行 ヴェールズ	豊田自動織機 シャイニングベガ
4月14日(日)	第1試合	豊田自動織機 シャイニングベガ	シオノギ レインボーストークス兵庫
	第2試合	伊予銀行 ヴェールズ	東海理化 チェリーブロッサムズ

第2節

「第2節」は、4月19日（金）～22日（月）、「東地区」が埼玉県さいたま市神奈川県茅ヶ崎市の2会場、「西地区」が愛知県豊田市、福岡県北九州市の2会場、計4会場で開催された。

「西地区」北九州ラウンドが悪天候に見舞われ、1試合雨天順延となつてしまつたが、その他の試合は予備日を使い、予定通り消化することができた。「東地区」ではビックカメラ高崎が開幕から負けなしの5連勝。「単独首位」に立ち、今節「ホーム」で3連勝を飾った戸田中央が4勝1敗で2位につけた。



「ホーム」で3連勝！
「東地区」2位に躍進した戸田中央

「第1節」で連勝スタートを切つた日立は対照的に「ホーム」で手痛い連敗を喫し、2勝2敗で3位に後退。第1節「ホーム」で3連敗となつたデンソーが今節連勝で2勝3敗とし、NECプラットフォームズ、大垣ミナモと並んで「同率4位」。今節連敗を喫した太陽誘電が1勝3敗で7位、今節「まさか……」の3連敗を喫したホンダが1勝4敗で最下位に沈んだ。

「西地区」では、「連覇」を狙うトヨタが「ホーム」で3連勝！開幕からの連勝を「5」に伸ばし、「王者」の強さを見せてつけている。

開幕連勝スタートを切つたシオノギはトヨタとの「全勝対決」で「移籍加入」の「新エース」三輪さくらの登板を回避。0-7で完敗し、注目の「首位攻防戦」は肩すかしに終わり、今節1勝1敗。3勝1敗で2位となり、今節1試合しか消化できなかった豊田自動織機が2勝1敗で3位につけた。

今節2勝1敗のSGホールディングスは通算成績3勝2敗で4位となり、今節「ホーム」で1勝1敗のタカギ北九州が2勝2敗で5位。今節連敗の伊予銀行が1勝3敗で6位、今節「今シーズン初勝利」を挙げた日本精工が1勝4敗で7位となり、東海理化は勝ち星なしの4連敗と開幕から1勝が遠い状況にある。

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第2節「東地区」さいたまラウンド 埼玉県さいたま市・レジデンシャルスタジアム大宮				
月 日		試合結果		
4月19日(日)		戸田中央 メディックス埼玉	3-1	ホンダ リヴェルタ
		ホンダ リヴェルタ	1-6	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
4月20日(土)	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	6-4	大垣 ミナモ
	第2試合	ホンダ リヴェルタ	1-4	大垣 ミナモ
4月21日(日)	第1試合	戸田中央 メディックス埼玉	3-2	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ
	第2試合			

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第2節「東地区」茅ヶ崎ラウンド 神奈川県茅ヶ崎市・茅ヶ崎公園野球場				
月 日		試合結果		
4月20日(土)	第1試合	太陽誘電 ソルフィーユ	1-2	ビックカメラ高崎 ビークイーン
	第2試合	日立 サンディーバ	1-3	デンソー プライツペガサス
4月21日(日)	第1試合	太陽誘電 ソルフィーユ	1-9	デンソー プライツペガサス
	第2試合	日立 サンディーバ	1-5	ビックカメラ高崎 ビークイーン

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第2節「西地区」豊田ラウンド 愛知県豊田市・豊田市運動公園野球場				
月 日		試合結果		
4月19日(金)		トヨタ レッドテリアーズ	11-2	日本精工 ブレイブベアリーズ
		伊予銀行 ヴェールズ	4-5	日本精工 ブレイブベアリーズ
4月20日(土)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	7-0	シオノギ レインボーストックス兵庫
	第2試合	日本精工 ブレイブベアリーズ	8-10	シオノギ レインボーストックス兵庫
4月21日(日)	第1試合	トヨタ レッドテリアーズ	9-2	伊予銀行 ヴェールズ
	第2試合			

ニトリ JD.LEAGUE 2024 第2節「西地区」北九州ラウンド 福岡県北九州市・北九州市民球場				
月 日		試合結果		
4月19日(金)		タカギ北九州 ウォーターウェーブ	0-2	SGホールディングス ギャラクシースターズ
		SGホールディングス ギャラクシースターズ	2-3	豊田自動織機 シャイニングベガ
4月20日(土)	第1試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	雨天順延	東海理化 チェリーブロッサムズ
	第2試合	SGホールディングス ギャラクシースターズ	5-1	東海理化 チェリーブロッサムズ
4月21日(日)	第1試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	雨天順延	豊田自動織機 シャイニングベガ
	第2試合	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	5-0	東海理化 チェリーブロッサムズ

※4月21日(日)雨天順延のSGホールディングス ギャラクシースターズ vs 豊田自動織機シャイニングベガ戦は後日実施

選手・チームのプロフィール、試合結果、全試合のLIVE配信は JD.LEAGUE 公式サイトで
<https://jdleague.jp/>

ニトリ JD.LEAGUE 2024			
東地区 第2節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	ビックカメラ高崎 ビークイーン	5勝0敗	1.000
2位	戸田中央 メディックス 埼玉	4勝1敗	0.800
3位	日立 サンディーバ	2勝2敗	0.500
4位	大垣 ミナモ	2勝3敗	0.400
4位	NECプラットフォームズ レッドファルコンズ	2勝3敗	0.400
4位	デンソー ブライトペガサス	2勝3敗	0.400
7位	太陽誘電 ソルフィュー	1勝3敗	0.250
8位	ホンダ リヴェルタ	1勝4敗	0.200
西地区 第2節終了時点 順位表			
順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	トヨタ レッドテリアーズ	5勝0敗	1.000
2位	シオノギ レインボーストークス兵庫	3勝1敗	0.750
3位	豊田自動織機 シャイニングベガ	2勝1敗	0.667
4位	SGホールディングス ギャラクシースターズ	3勝2敗	0.600
5位	タカギ北九州 ウォーターウェーブ	2勝2敗	0.500
6位	伊予銀行 ヴェールズ	1勝3敗	0.250
7位	日本精工 ブレイブベアリーズ	1勝4敗	0.200
8位	東海理化 チェリーブロッサムズ	0勝4敗	0.000



平林金属 Peachblossoms

Platinum Section

JAPAN SOFTBALL LEAGUE

第57回
日本女子ソフトボールリーグ
第1節



厚木SC

首位発進!



大和電機工業

Sapphire Section

【第1節】 令和6年4月20日（土）・21日（日）

●プラチナセクション・サファイアセクション合同開催○

石川県金沢市／金沢市営専光寺ソフトボール場

☆プラチナセクション☆

平林金属 Peachblossoms
厚木SC 同率首位!

★サファイアセクション★

大和電機工業 単独首位

●第1節・プラチナセクション概要●

第1節「プラチナセクション」は、「サファイアセクション」と「合同開催」という形で4月20日(土)・21日(日)の2日間、石川県金沢市・金沢市営専光寺ソフトボール場にて開催された。

この「プラチナセクション」は前年度の順位、優勝・静甲、第3位・VONDS市原、第5位・YKK、第7位・平林金属、第9位・厚木SC、第11位・ペヤングの6チームが振り分けられ、同セクション内で2回総当たりのリーグ戦を実施。1回目の対戦を終えた第2節終了時点での順位に基づき、「サファイアセクション」の各チームと対戦(1位・3位・5位のチームは2位・4位・6位のチームと、2位・4位・6位のチームは1位・3位・5位のチームと対戦)。同セクション内での2回総当たりによる10試合の試合結果に、「交流節」での「サファイアセクション」との3試合の試合結果を加え、計13試合の結果でセクション内の順位を決定。この結果に基づき、最終順位を決定する「順位決定節」に臨み、両セクション1位・2位のチームが「日本リーグ優勝」をかけて戦う「Aブロック」に、3位・4位のチームが「Bブロック」に、5位・6位のチームが「Cブロック」に振り分けられ、各ブロック内で1回総

当たりのリーグ戦を実施し、そのブロック内でのリーグ戦の試合結果で1位・2位、3位・4位が最終順位を決定する「最終順位決定戦」を行い、「Aブロック」では「日本リーグ優勝」(4位)、「Bブロック」では5位(8位)、「Cブロック」では9位(12位)が決定する。その「長い戦い」の開幕となる「第1節」プラチナセクションでは、平林金属と厚木SCが連勝を飾り、首位発進。昨シーズンの「覇者」静甲が「まさか……」の連敗スタートとなる等「波乱」の幕開けとなった。



昨シーズンの「覇者」静甲は「まさか……」の連敗

「同率3位」には今節1勝1敗のVONDS市原、YKKの2チームが並び、静甲、ペヤングの2チームが勝ち星なしの連敗スタートとなった。

●第1節・サファイアセクション概要●

第1節「サファイアセクション」は、「プラチナセクション」と同日程・同会場で行われ、昨シーズン2位・小泉病院、第4位・MORIAL WAVE KANOYA、第6位・大和電機工業、第8位・花王コスメ小田原、第10位・Citrine Ichinomiya、第12位・ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校の6チームで構成され、「プラチナセクション」と同様の試合方式で実施された。

この「第1節」では、一昨年の「日本リーグの覇者」大和電機工業が連敗スタート! 「王座奪還」へ向け、快調な滑り出しを見せた。



「王座奪還」を狙う大和電機工業が開幕「連勝」のスタート!

2位以下は大混戦となり、4チームが1勝1敗で並ぶ状態に……。第2節以降、ここからのチームが抜け出すのか、予断を許さぬ状況となっている。



2位以下は大混戦……第2節以降も激戦・激闘になりそうな予感!?

2年連続で「最下位」に終わっているルネス紅葉スポーツ柔整専門学校は勝ち星なしの「連敗」に終わった。「専門学校」という特殊なチーム事情もあって選手の入れ替わりが激しく、経験の「蓄積」が難しく、2試合で26失点と大量失点が続き、開幕から苦しいスタートとなった。

第57回日本女子ソフトボールリーグ 第1節「プラチナセクション」				
月 日	試合結果			
4月20日(土)	第1試合	ペヤング	0-3	厚木SC
	第2試合	VONDS市原	3-2	静甲
	第3試合	YKK	6-7	平林金属 Peachblossoms
4月21日(日)	第1試合	厚木SC	4-3	VONDS市原
	第2試合	平林金属 Peachblossoms	6-3	ペヤング
	第3試合	YKK	3-2	静甲

第57回日本女子ソフトボールリーグ 第1節「サファイアセクション」				
月 日	試合結果			
4月20日(土)	第1試合	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	5-13	Citrine Ichinomiya
	第2試合	小泉病院 Blue Arrows	5-4	MORI ALL WAVE KANOYA
	第3試合	大和電機工業	3-1	花王コスメ小田原 フェニックス
4月21日(日)	第1試合	Citrine Ichinomiya	3-5	MORI ALL WAVE KANOYA
	第2試合	花王コスメ小田原 フェニックス	13-0	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校
	第3試合	大和電機工業	3-2	小泉病院 Blue Arrows

※試合のスコアをクリックすると各試合のレポートがご覧になれます



VONDS市原、YKKの
2チームが1勝1敗で続く



厚木SC・古屋英恵も
2勝を挙げる活躍！

Platinum Section



今節2勝を挙げた平林金属・橋口紫織

Sapphire Section



「王座奪還」ヘチームー丸
大和電機工業が連勝スタート！
「強い大和電機」が選ってきた



開幕
ダッシュ！

第57回日本女子ソフトボールリーグ

プラチナセクション 第1節終了時点 順位表

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	平林金属 Peachblossoms	2勝0敗	1.000
1位	厚木SC	2勝0敗	1.000
3位	VONDS市原	1勝1敗	0.500
3位	YKK	1勝1敗	0.500
5位	静 甲	0勝2敗	0.000
5位	ペヤング	0勝2敗	0.000

サファイアセクション 第1節終了時点 順位表

順位	チーム名	勝敗	勝率
1位	大和電機工業	2勝0敗	1.000
2位	小泉病院 Blue Arrows	1勝1敗	0.500
2位	MORI ALL WAVE KANOYA	1勝1敗	0.500
2位	花王コスメ小田原 フェニックス	1勝1敗	0.500
2位	Citrine Ichinomiya	1勝1敗	0.500
6位	ルネス紅葉スポーツ柔整専門学校	0勝2敗	0.000



大会結果詳細、戦績表、チーム紹介・選手プロフィール、試合スケジュール等詳細は
JSL オフィシャルウェブサイト <https://jsl-women.com/>

もう一つの開幕…審判員・記録員奮戦す！



去る4月12日（金）、「ニトリ J.D. LEAGUE 2024」が開幕！翌週の20日（土）には「第57回日本女子ソフトボールリーグ」も開幕を迎え、本格的なソフトボールシーズンが到来した。「開幕」を迎えたのは選手・チームだけでなく、この日のために「研修」を重ね、備えてきた審判員・記録員にとっても、新たなソフトボールシーズンの始まり、幕開けであった。

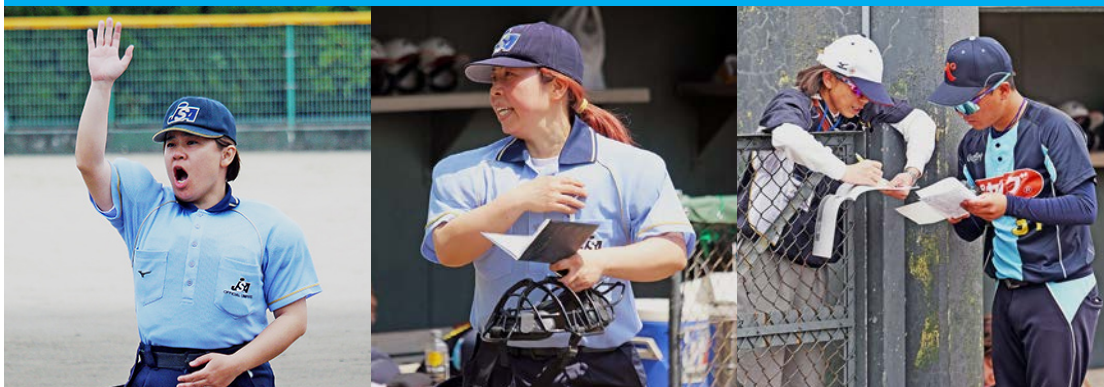
「ニトリ J.D. LEAGUE 2024」「第57回日本女子ソフトボールリーグ」を担当する審判員たちは厳しい選考の末、選び抜かれ、3月29日（金）～31日（日）、愛知県下の豊田市・刈谷市・安城市で開催された「リーグ交流戦2024」（J.D. LEAGUE加盟の15チームが参加）を「リーグ本番」に見立て「実戦」の中で研修を積み、この「開幕」に備えてきた。一方、大会の「公式記録」を担当する記録員も2月9日（土）～11日（月・祝）の「全国審判員・記録員中央研修会」を皮切りに、全国9地区（北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州）のブロック研修、各都道府県支部協会での研修と準備を積み重ね、この日の「開幕」を迎えている。「厳正・正確」で「公平・公正」な判定と、「正確かつ迅速」な公式記録の提供のため、日夜努力が続けられている。



ニトリ JD. LEAGUE 2024「東地区」



ニトリ JD. LEAGUE 2024「西地区」



第57回日本女子ソフトボールリーグ

2024 JD.リーグ
第57回日本女子
ソフトボールリーグ
**担当審判員
研修会**

2024.3.29~3.31
愛知県豊田市・刈谷市・安城市



令和5年度
全国
審判員・記録員
中央研修会

2024年2月9日~11日
愛知県刈谷市



研修会の詳細レポート、動画は
日本ソフトボール協会公式ホームページで!

研修内容の詳細は
機関誌「JSAソフトボール」第471号(4月号)で

事務局だより

クラウドファンディングへの
「ご理解・ご支援・ご協力」
ありがとうございました!!

2024年2月26日（月）より開始いたしました本協会クラウドファンディング「ソフトボールの未来をみんなの輪で。男女ソフトボール、世界一への挑戦」が4月19日（金）をもって終了。ソフトボールを愛するたくさんの方々
の「ご理解・ご支援・ご協力」により、最終的に、704万9000円[※]の支援金をご寄付いただきました。

今回のクラウドファンディングで集まりました資金は、「男子及び女子日本代表チーム強化費用」並びに「ソフトボール競技人口拡大に向けた普及事業」に充てさせていただきます。

改めまして温かいご支援とたくさん
の激励メッセージをいただき、本当に
ありがとうございました!!

今後とも、本協会活動へのご理解・
ご支援・ご協力をよろしくお願い申し
上げます。



「世界の頂点をめざしてー」
より一層励み、邁進していきます!!